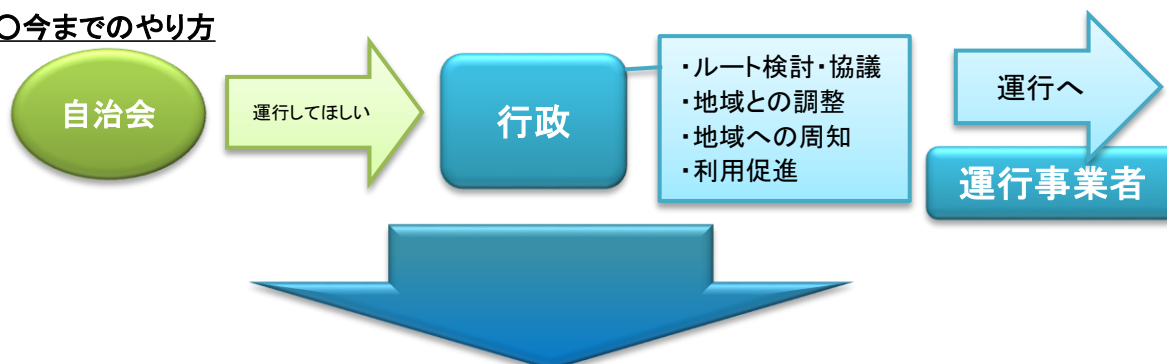


地域主体の取組みによるバス運行について

○地域主体の取組みによるバス運行とは

従来の乗合型公共交通の運行が難しい地域において、その地域の住民が主体となって日常の移動手段を確保する取組み。
既存のバス路線のルート変更では対応できない場合や道路の幅員が狭く大型・中型車両乗入れできない場合などに地域の方々が主体となり、その地域に合致した運行形態やルート・ダイヤで地域の移動手段を確保する取組み。

○今までのやり方



○これからのやり方



「～してほしい」という要望型から「～したい」という地域主体の取組型へ転換

メリット

- ・地域が主体となるため、マイバス意識が高まる
- ・地域の実情に合致した運行が実施できる
- ・公民連携により早期に事業化が見込める

○地域主体のバス運行モデル(例)

